

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2008.11.23 No.499(毎月2回発行)

あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

井政
市

またまた

五日市地域のサービスカット

ふるさと工房や小宮・戸倉・増戸の図書館施設も

温水プールがある体育館・ファインプラザは、五日市町時代に完成、町民が待ちに待った公共施設でした。12名の職員が配置され、うち10名が体育係でした。合併前は「幼児水なれ教室」など35の「手づくり事業」が町民参加でつくられ大変な盛況でした。また60歳以上の高齢者には「無料スポーツパス」を交付、多くの町民が利用しました。

当時の五日市町は財政的に決して楽ではありませんが、当時の町当局と議会、そして職員の大きな努力で育てられて来ました。合併して職員が4人になり、無料パスも廃止されましたが、「職員が住民に奉仕する」という伝統は、職員によって引き継がれています。

民間委託が先にありきの提案

ところが、今回の民間委託です。市の職員はゼロになります。指定管理者制度を使うということですが、委託先も決まらないうちに「民間委託、先にありき」の議会提案です。民間委託で市の財政が浮くといっていますが、それはサービスカットに直結しています。安全面でも営利優先の民間では、ふじみ野市のようなプール死亡事故が起きない保障はありません。

廃止と民間委託 つぎつぎと提案

その上、ふるさと工房



ファインプラザ



ふるさと工房



増戸会館・図書館

五日市ファインプラザを
民間委託に!!

や増戸、小宮、戸倉の学習等共同施設の廃止がすすめられています。

財政難の元は旧秋川市長「井井氏」

市の財政難は、不動産市政といわれた旧秋川市長(井井現市長)がその元をつくり、小泉構造改革の合併おしつけと三位一体改革という地方自治体切り捨てを現・前市長が言われるまま受け入れて、につつもさつちもいかなる借金財政におちいった結果です。

責任を住民に押し付けるサービスカット

合併で五日市地域から公共施設が市の中心部に移ったり、廃止されたりしました。さまざまサービスカットがされたうえ今回のファインプラザの民間委託によるサービスカットは、絶対に許すことが出来ません。

制度解説

日本共産党と、お書き

●小選挙区は候補者名を書いて下さい
衆議院東京25区予定候補

鈴木おさむ



絵手紙/寺門静子さん・雨間在住



たばた あずみ

このごろは男の子が赤い服を着ています。わたしがこどものころは、赤はピンクと同等の「女色」。反対に当時「男色」だった水色は、今や女の子の色なのだそうです。

むすこも赤が好き。ランドセルを買うときにも「赤!」一点張り。本人がいいならいいけれど、後でいやになったら困るなあと思いましたが、親の迷いを汲み取ったのか「やっぱり黒」になりましたが、3年たっても暗い赤もかっこよかったなと言うのを聞き、くだらない常識を押し付けちゃったと後悔…。

現在4年生。新しい自転車は黒がいいと言うので、もしやと思って聞いてみると「ランドセル? 赤? そんなこと言ったっけ?」

…これだからこどもはよくわかりません。

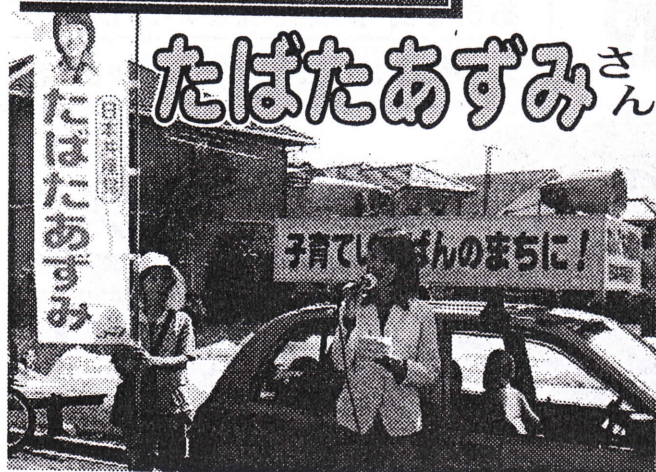
(08.11.23)

連絡先は☎550-6674

野良望

▼先日、若い夫婦の自宅を訪ねたとき、アメリカの金融危機の話が出ました。「お父さん(ご主人)の勤めている会社では、12月のボーナスを出すか出さないか議論になっている。もし出ないことにでもなったら住宅ローンが払えない。アメリカの金融機関の破たんを私達に押し付けられないでほしい」と切実に訴えられました。▼今まで輸出を中心に莫大な利益を上げてきたトヨタ自動車をはじめとする自動車関連の大企業では、真つ先に派遣社員の「首切り」を進めています。下請け単価の引き下げや銀行の貸し渋りで中小企業は倒産に追い込まれています。アメリカのばくち経済による付けを国民生活に回すことは許されません。▼国民の暮らしを応援する政治に切り替えるために、来るべき総選挙で日本共産党を大きく躍進させなければとの想いを強くしています。(山根)

がんばる市議予定候補



市議会議員選挙の予定候補者となって早2ヶ月、たばたあずみさんは、総選挙勝利のために街頭宣伝や戸々訪問、後援会の集まりなどに積極的に参加しています。子育て中のお母さんの声、年金生活者の悩みや願いなど、多くの市民の声に耳を傾けています。

街頭宣伝でたばたあずみさんは、「私は3人の子育て真っ最中ですが、夫がせめて夕ご飯までに帰れるような、あたりまえの生活ができる政治を実現したい」と熱をこめて訴えています。また、「私が共産党に入ったのは、共産党が戦争に反対し、憲法9条を守る立場をつらぬいている党だからです」と力をこめて訴えています。

沖田国賠訴訟で
最高裁判決

→判決後インタビューに応える沖田さん



高裁不当判決を破棄・差し戻し

開かずの最高裁の扉をこ

↑喜びつつも最後まで頑張ると報告する沖田さん。

じ開け、痴漢をしたとする不当な高裁判決の破棄・差し戻しを勝ちとった。

7日に行われた沖田国賠訴訟で最高裁(第二小法廷)の判決は、女性の申告を鵜呑みにすることを戒め、客観的な証拠を重視することの重要性を指摘しました。

これは、多発する痴漢冤罪事件をなくす重要な一歩となるものです。

この裁判は、中央線車内で沖田さんが携帯電話を注

意した女性の「痴漢された」との虚偽申告で逮捕され、不起訴になりましたが21日

間も拘留など許せないと沖田さんが賠償を求めたものと

です。一、二番とも女性の供した。

述を認めて沖田さんは敗訴していました。

最高裁南門前には傍聴(47席)を求め102人が詰めかけ判決後に報告集会が開かれました。

沖田さんは「痴漢＝犯罪者の汚名が晴れる喜び」を語り、真実を明らかにするため最後までがんばること

を表明。参加者からも「これまでがんばってきた甲斐があった。高裁の裁判できつ

ぱり勝利するため、さらに支援を強めよう」の発言が相次ぎました。

秋川流域からも野口マリ子さん(国民救済会三多摩

総支部会長)らが参加しました。

東地区後援会

餅つき大会

12月14日(11時)

唐沢武一さん宅・参加費500円

五日後援会

もちつき

12月23日(10時)・参加費500円

大和田さん宅

生まれ出て政権末期の三代目

身から出た錆が政府に桶をつく

給付金元を正せば国税だ

給付金これだ勝てるよあさはかな

西川昇
西川昇
松頼坊
松頼坊

雪切れる畑に白き蕎麦の花
(和恵)
石路の黄の鮮やかや陽は西に
(やす子)
運動会無口な母の今日の声
(つや)
月のぼる閑田高原駒の里
(静子)

肩欠けし地蔵の並び竹の春
(淑子)
雑草と呼ばれ通して草は実
(かほる)
追憶の友の手にあるえのこ草
(るり子)
若き日に住みたる家や秋海棠
(しゅうかいどう)
配食の車を飛ばし秋桜
(勝代)
昇降機帯解きの子に乗り会はず
(忠治)
(香治)

歴史探訪

第79回

地名考・引田③



小字の名は時代を経るに従い、必要に応じ残るもの、忘れ去られるものとあります。草花のようにバス停の名や町内会の名として多く残っている地域もありますが、秋川周辺の地域の多くは忘れ去られて消えています。引田の公園による小字として、阿岐野・桜ノ岡・楓ヶ原・静の原・一の谷・二の谷・三の谷とありますが、私の知る限りでは楓ヶ原と一の谷だけです。優美な名を持つ阿岐野は、五日市線の北側から日の出町方面一帯の田畑の地で、民家はあまりありません。「アキ」は実りの秋から来た豊かな収穫の野という意味ですから、当時から耕作が発達し収穫の多い土地であったでしょう。楓ヶ原の名も優雅です。現在では引田の中心地となっていますが、古文書では「村の北側にあり、陸田の地である。この辺りは桜木や紅葉塚など優美な名がある原野である」と書かれていますので、紅葉が観られる美しい原野から楓ヶ原の名が付いたのでしょう。静ノ原は秋川に近く、古く集落が形成された開村の地です。「静」は清水の沸き出る所の意ですから、地下水が多く水に恵まれた地として、古代人にとつては暮らし易い環境であったと思います。一の谷・二の谷・三の谷は秋川の北側です。小字名が示す通り、谷や沢が入り組んだ険しい土地であったと思います。古くは一の沢というように「沢」が使われていましたが、明治元年に「谷」に変わったと云われています。

(続く) 草花 木崎秀治